**日本化粧品技術者会学術大会「要旨」テンプレート**

〇化粧　花子1)，研究　太郎2)

1株式会社化粧品,　2SCCJ大学

**How to Write The abstract Using This Template**

〇Hanako Kesho1), Taro Kenkyu2)

1Keshohin Co., Ltd., 2SCCJ University

**１．緒言**

ここから、緒言を記載してください。

本研究の背景。

研究の意義（なぜ本研究するのか、本研究によって何がもたらされるのか、など）。本研究の基礎となった先行研究の列挙、概要、本研究との関連性、違い、に基づいた本研究のオリジナリティの主張。本発表で何が示されるのか、何が明らかになるのか。場合によっては特殊用語の説明を記載してください。

※1行空ける

**2．方法**

ここから、実験について記載ください。

研究対象、材料、機材、課題、条件、などを記載してください。

ヒトを対象とした試験の場合、試験参加者から同意を取得して実施したことを記載してください。

また倫理審査等について記載可能なものは記載ください。

必要であれば**2-1.　2-2.**等、副項目を設けてください。

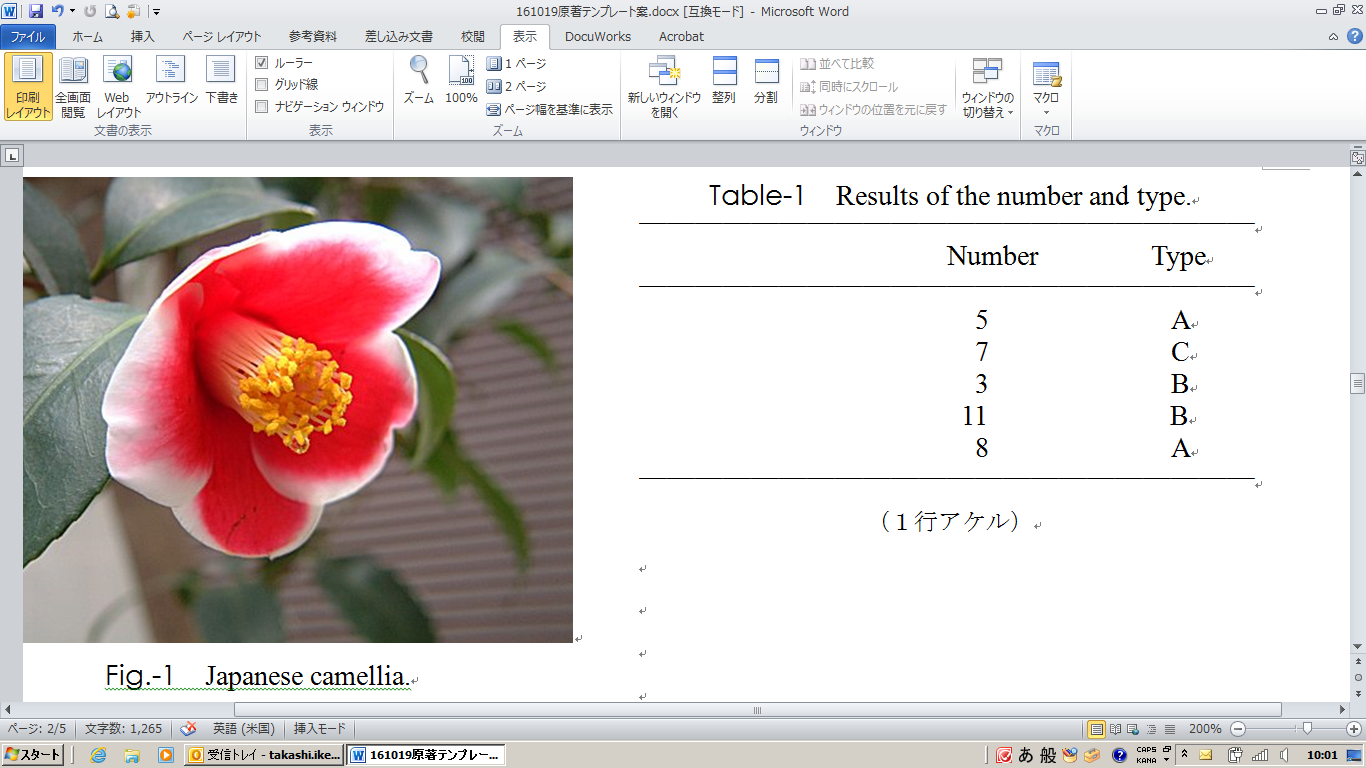
**2-1.　図表の挿入**

図表は、適切を思われる箇所に、画像の貼り付け、ないし入力等を行ってください。図の下には「Fig.-0」、表の上には「Table-0」として全角アケ、その後に題目・説明を記載してください。



Fig.-1　日本の椿　この椿の名前は「玉の浦」です。

Table-1　数とタイプの結果



※1行空ける

**３．結果**

ここから、研究の結果を記載してください。

必要であれば**3-1.　3-2.**等、副項目を設けてください。

※1行空ける

**４．考察**

ここから、研究結果に対する考察を記載してください。

※1行空ける

**５．引用文献**

　ここから、文中に引用した文献のリストを記載してください。

1. Y. Nakashima et al., *Free Radic Biol Med*.2017,108:300-310.
2. C. Calles et al., *J Invest Dermatol*. 2010, 130:1524-1536.

（番号) 著者, 雑誌名（イタリック）. 発行年, 巻:ページ.）

要旨はA4 2ページです。